



インクルーシブ社会を実現する架け橋となる
～誰もが笑顔で暮らせる社会へ～

VOL. **14**
2026.06.01

NEWS LETTER

架け橋ひろば

代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

学びが人をつなぎ、地域を変えていく

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川 美栄

新年度が始まり、三島キャンパス、宇美キャンパスともに、新しい仲間との出会いや様々な活動が本格的に動き始めています。

宇美キャンパスでは、やなせたかし展の見学を通して、「人を喜ばせること」の大切さに触れる機会となりました。アンパンマンに込められた優しさや、人を支える思いに、利用者の皆さんも自然と笑顔になっていた様子が印象的でした。三島キャンパスでは、富士サファリパークでの余暇活動や地域活動など、仲間と共に考え、相談し、挑戦する経験を積み重ねています。

私たちが大切にしているのは、「ただ活動すること」ではありません。一人ひとりが地域の中で人と出会い、経験を重ね、「自分らしく生きる力」を育てていくことです。教室の中だけでは学べないことが、地域にはたくさんあります。公園での写生活動、地域散策、外食体験、仲間との協力…。その一つひとつが、生きる力につながっています。

また、三島キャンパスでは教材の大幅な改訂も行われました。「情報を知る」だけで終わるのではなく、「実践する」「挑戦する」「経験として身につける」という流れを大切にしながら、「みらいカレッジらしい学び」を追求しています。利用者の皆さんが、地域社会の中で安心して生きていくために必要な力を、少しずつ積み重ねていけるよう、これからも支援を続けてまいります。

さらに5月には、長谷川正人前代表理事がアメリカ・ニューオーリンズで開催された学会に参加し、知的障害者の高等教育やインクルーシブ教育の先進実践について視察を行いました。現地では、「知的障害があっても大学で学ぶことは特別なことではない」という考え方のもと、地域社会や大学コミュニティの中で、当たり前のように学び、交流し、成長している学生たちの姿がありました。その実践は、私たちが日頃から目指している「誰もが地域の中で学び、共に生きる社会」と重なるものであり、日本でも必ず実現できる未来だと感じています。未来への架け橋もまた、地域に根ざした学びを大切にしながら、インクルーシブ社会の実現に向けて歩みを続けてまいります。

最後に、『架け橋ひろば』は今号より発行形態を見直し、月刊誌から季刊誌へ変更することとなりました。今後は、春号（4月）、夏号（7月）、秋号（10月）、冬号（1月）の年4回、より充実した内容をお届けしてまいります。次号は2026年10月1日発行予定です。

これからも、利用者の皆さん、ご家族、地域の皆さまと共に、「学びを力に、未来を拓く」歩みを続けてまいります。今後とも温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

行事名：郊外行事 やなせたかし展 ～人生はよろこばせごっこ～

5月13日（水）福岡県立美術館にやなせたかし展【人生はよろこばせごっこ】を観に行きました。

と、その前にまずは腹ごしらえ😊 前もって予約を入れた「MKレストラン」へランチを食べに行きました😊 普段なかなか見る機会のない蒸籠に食欲も増し、冷めるのも待てない様子で「熱っ、熱っ…」と言われながらも美味しそう飲茶を食べられていました😊😊 昼食後はいよいよ美術館へ🚶🎵

入口入ってすぐにアンパンマンの絵画を鑑賞し、皆さん笑顔が溢れていました。

やなせたかし先生が「人を喜ばせること」を人生の最大の喜びとして生きてこられた通り、漫画、詩、絵本、イラスト、デザイン、歌にとそれぞれの鑑賞場所で笑顔が絶えませんでした😊😊💫 その中でも「手のひらを太陽に」の作詞がこの人なの？と職員へ伝えられ職員も初めて知って驚きました😊 アンパンマンはカッコよすぎないヒーローや子供でも書ける丸みを帯びた形状等説明書きを見て「すごいね」等、皆さんそれぞれの感性で楽しまれていました😊



MIRAI COLLEGE UMI

宇美キャンパスの活動はこちらから

余暇活動：富士サファリパークへGO

4月は新しい環境の中で、それぞれが不安や緊張を抱えながらもなんとか乗り切り、5月のゴールデンウィークへと突入しました。連休明けは例年がない暑さや寒暖差の影響もあり、心も体もぐったりしてしまう時期。それでも皆さんは気持ちを切らさず、通所を続けてきました。そんな中で迎えた大きなイベントが、今年度初めての余暇活動です。話し合いを重ねた結果、行き先は富士サファリパークに決定。当日はバスに揺られながら1時間の小旅行となりました。到着後すぐに乗ったサファリバスでは、動物たちの息づかいが伝わるほどの近さに大興奮。迫力ある音やにおいに包まれ、「本物を体験する」特別な時間となりました。その後はグループごとに事前に話し合っていた決めたコースを巡り、小動物とのふれあいや動物パン作りなど、思い思いの活動を楽しみました。仲間と相談しながら行動したり、初めての体験に挑戦したりと、どの場面にも笑顔があふれ、青春らしいひとときを過ごすことができました。新年度の疲れが出やすい時期ではありますが、仲間とともに過ごしたこの一日は、心のリフレッシュと新たな一歩につながる大切な経験となりました。



MIRAI COLLEGE MISHIMA

三島キャンパスの活動はこちらから

宇美キャンパス

看護師

氏名：石橋 すみ枝



- 現在の担当業務を教えてください。
日常生活や作業の支援、健康観察や健康指導及び看護ケア
- 「このお仕事を選んだ理由」を教えてください。
親子で健常児と障がい児が一緒に活動するアマチュア劇団に所属していました。子ども同士が自然と協力しあっている状況、大人のかかわり方など感動することが多々ありました。
- 普段、どんなことを大切に仕事に取り組んでいますか？
週2回の勤務なので、利用者様の状況が大きく変化していることもあり事前の情報収集に努めています。利用者様が混乱されないよう一貫した対応を心がけています。
- 利用者さんが見せてくれた笑顔の中で、心あたたまってきたことがあれば教えてください。
利用有様の不安そうな表情や躊躇されている様子がみられる時、声かけし、傾聴、介入することで表情が明るくなったり、行動に移すことが出来たりします。支援者としては嬉しいことですが、自発性を促す為に、介入しすぎないことも大切だと感じます。
- これから「未来への架け橋」で実現したい夢や、挑戦したいことは何ですか？
ひとりひとり、性格ももっている課題も違うので、それぞれが、少し頑張れば、手が届くような目標に向かって成長されるよう、支援していきたいと思います。
- 最後に、未来への架け橋を支えてくださる皆さん（利用者さん、ご家族、地域の方など）へ、メッセージをお願いします。
「こうあらねばならない」という画一的な正解はないと思います。ひとりて悩まず、皆と一緒に前向きに考えて、安全で快適な生活空間を広げていきましょう。

学びの現場から ～こんな授業やってます！～

自立訓練：教科書の改訂が行われました

みらいカレッジ三島キャンパスは開所から1年を迎え、この間、利用者一人ひとりが社会生活能力（自立した生活を送るためのスキル）を身に付けられるよう、10教科にわたり学びの場を提供してきました。座学での情報提供の難しさや、経験を力に変えるための工夫、さまざまな障害特性への配慮、そして「これからの人生をより生きやすくしてほしい」という職員の願いを踏まえ、今年度は教材を大幅に改訂し、より“みらいカレッジらしい



学び”へと進化させました。新しい教科書では、一つの力を身に付けるために、10教科それぞれの視点から段階的にアプローチし、〈情報→実践→チャレンジ→経験〉と積み上げていく仕組みを整えています。カレッジ内だけでなく、地域に出て自分を試す“ホームからアウェイへ”の学びも充実させました。一つひとつの学びが未来を拓く力になるように。そんな願いを込めて生まれた新教材のご紹介でした。



地域と共に

～街と一緒に！～

地域が教室になる

新緑がまぶしい季節、みらいカレッジ三島キャンパスでは、地域に出向く「地域活動」を積極的に行っています。駅前の公園では写生大会を実施し、暖かな日差しの中で利用者の皆さんが思い思いのスケッチを仕上げました。ゴールデンウィークには、河川敷に並ぶこいのぼりを鑑賞し、観光地沼津港にも足を運びました。多くの人が行き交う中で、地域の景色に溶け込みながら、いきいきと活動する姿が見られます。



外出は楽しさだけでなく、少しのドキドキや緊張も伴います。家族と出かける時とは違う“活動としての外出”は、一つひとつが大切な経験となり、社会の中で自分を試す機会にもつながっています。地域とともに学び、地域の中で成長する…そんな日々の取り組みをご紹介します。



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



活動内容

＞福祉啓発活動

ニュースレターやウェブサイト、SNSを活用し、活インクルーシブ社会を目指して活動内容や成果を広く発信します。

＞会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【お申込み】

【年会費（1口）】

法 人	特別会員：10万円
	正 会 員：5万円
	賛助会員：1万円
個 人	特別会員：3万円
	正 会 員：1万円
	賛助会員：3千円



入会特典キャンペーン
代表者 長谷川 正人の
著書を1冊プレゼント！

広がる架け橋コミュニティ
ご支援、心より感謝申し上げます。

フロントップ株式会社、リーフラス株式会社、公益財団法人つなぐいのち基金、
ぜんち共済株式会社、一般社団法人UBUNTU FSプロモーション、株式会社入江感動経営
研究所、北村悦子、酒井巳喜雄、國分幹生、篠田哲郎、奈倉京子、山中和彦、
鎌倉はんこ月野允裕、倉光美奈子、倉光晃子、石山早苗、森本創、宮入卓也、小松原修、
石川真希子、砂長美ん、宮崎信恵、山田千春、山本真知子、石井真人、平野惺也、
安岡知美（敬称略・順不同）

※賛助会員のご紹介は、事前に掲載許可をいただいた方のみ記載しております。



学びをチカラに。未来を拓く！
一般社団法人 未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

お 問 合 せ
〒811-2129
福岡県糟屋郡宇美町神武原3-1-1
TEL：092-957-9766
E-Mail:info@miraicollege.com

OPEN
CAMPUS
お申込み

